

キャッシュ・フローの配分

2021-2024年度中期経営計画では、キャッシュ・フローの創出力を向上させるとともに、財務の健全性維持・向上を基本方針とし、経営基盤の強化と企業価値向上に取り組んでいます。2021年度の営業キャッシュ・フローは385億円となり、おおむね計画通りとなっています。



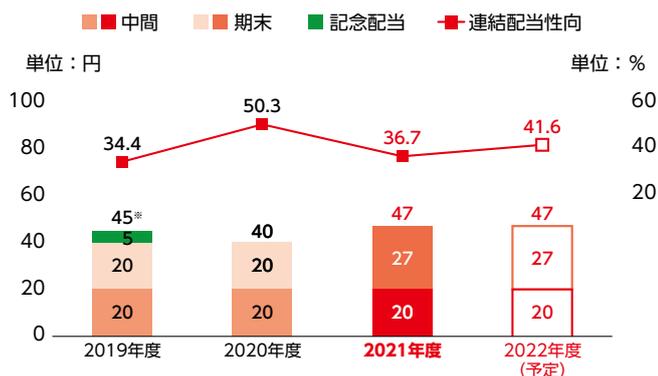
▶ 設備投資

前中期経営計画よりも設備投資比率を下げ約700億円とし、重点領域に適切な投資を行っていきます。なお、2021年度は121億円の投資を行い、2022年度は191億円の投資を計画しています。持続的成長のために、経営基盤を強化するとともに海外などの成長領域に投資をしていきます。

▶ 株主還元

2021-2024年度中期経営計画では、配当金45円以上を基準とし、4年間累計の総還元性向50%以上を目標に、積極的かつ安定的な株主還元を行っていきます。2021年度は100億円の自己株式取得を行うとともに、配当金については当初計画より2円増配し、前年より7円増配の47円を実施し、配当性向は36.7%となりました。

1株当たり配当金の推移



▶ 内部留保

財務体質の強化を図りながら将来の事業展開に備えるため、自己資本比率60%以上を目安としています。2021年度は目安を上回る65%となりました。

TOPICS

物流事業 持分法適用関連会社へ変更

株式会社キューソー流通システムの株式を一部売却したことにより、2021年度に連結子会社から持分法適用関連会社へ変更となりました。

株式会社キューソー流通システムにおいては、経営の迅速な意思決定と戦略的投資の主体的判断が可能となる一方、当社においては国内・海外の食品事業に経営資源を一層集中することができ、両社にとって企業価値を一層高めることができると判断しました。

今後も、食品製造と物流機能において強固なパートナーシップを維持し、両社の持続的な企業価値向上に努めていきます。